

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-155465

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月15日

(51) IntCl.⁶

A 2 1 C 11/00

11/24

識別記号

F I

A 2 1 C 11/00

11/24

D

A

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-363380

(22) 出願日 平成9年(1997)11月25日

(71) 出願人 593195336

久保沢 金之助

千葉県山武郡山武町大木577番地12号

(72) 発明者 久保沢 金之助

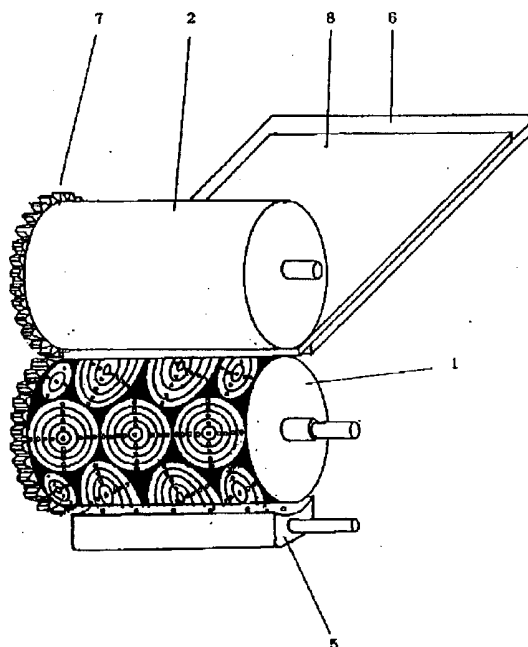
千葉県山武郡山武町大木577番地12号

(54) 【発明の名称】 糸状に繋がったリング麺製造装置

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、従来のうどん、そばのように1本の直線状の麺でなく、外国人にはホークで、子供には、夢と想像力を高め、楽しみながら麺が食べられる麺を製造することを目的とする。

【構成】 麺の形に、一本の繋がったリング麺を基本とし、文字、動物画、車、自動車画、人物画、絵画、風景画、マンガのエラスト、日常品の一部など変化を持たせた麺の製造装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 麺を挿入台(6)に麺を挿入、ローラー本体(1)、ローラー本体(2)で圧力をかけ、ローラー本体(1)に設けた金型切歯(3)で麺を人物画、文字画、動物画、自動車画、絵画、などリング形変形麺に切断し、1本の切り目のない糸状に繋がったリングの変形麺を作り出す、糸状に繋がったリング麺製造装置。

【請求項2】 ローラー本体(1)とローラー本体(2)の回転による圧力で、麺を金型(3)の金型切歯(3-1)と金型切歯(3-2)の間で麺が圧力で切断され、定着された麺をエアー室(4)のエアー吹き出し口(4-1)からエアーが吹き出されて、ローラー本体(1)に設けた金型(3)、金型切歯(3-1)と金型切歯(3-2)の間に設けた穴(3-3)にエアー吹き出し口(4-1)から吹き出されたエアーが、回転するローラー本体(1)の穴(1-1)にエアーを吹き付け、穴(1-1)にエアーが入り、金型切歯(3-1)と金型切歯(3-2)の間に定着された麺を取り出し、1本の糸状に繋がった麺ができる、糸状に繋がったリング麺製造装置。

【請求項3】 ローラー本体(1)の金型切歯(3-1)と金型切歯(3-2)の間の麺をエアー吹き出し口(4-1)からエアーを吹き出した時、エアーの圧力でも金型切歯(3-1)、金型切歯(3-2)の間の麺が取り除くことができなかった麺は、吸入口(5-1)から、エアー吸入装置(5)で麺を吸入し麺を取り除く事が出来る、糸状に繋がったリング麺製造装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、日本の伝統、古代から試食の麺類を、食の文化として、世界に伝えている、箸だけでなく、ホークでも食べやすく、子供には夢と想像力を高め、幼児、高齢者、身体障害者の方も食べやすく、食べることの楽しさを与える麺の製造に関する。

【0002】

【従来の技術】従来に麺の製造は、うどん、ソバのように1本の直線状の麺の製造方法。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の麺の製造は、1本の直線状であるため、麺に変化がなく、外国人は食文化の関係で、箸では食べにくく、幼児、高齢者、身体障害者は食べにくく、麺を食べる楽しさが無い。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、麺の形にリングを基本とし、文字、動物画、車、自動車画、人物画絵画、風景画、マンガのエラスト、日常品の一部など変化をもたせた型を使用した麺の製造装置とする。

【0005】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0006】本発明の、糸状に繋がったリング麺製造装置で作った麺は、外国人にはホークで食べやすく、幼児、高齢者、身体障害者の方でも食べやすく、楽しみながら、麺を食べることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】糸状に繋がったリング麺製造装置の全体図。

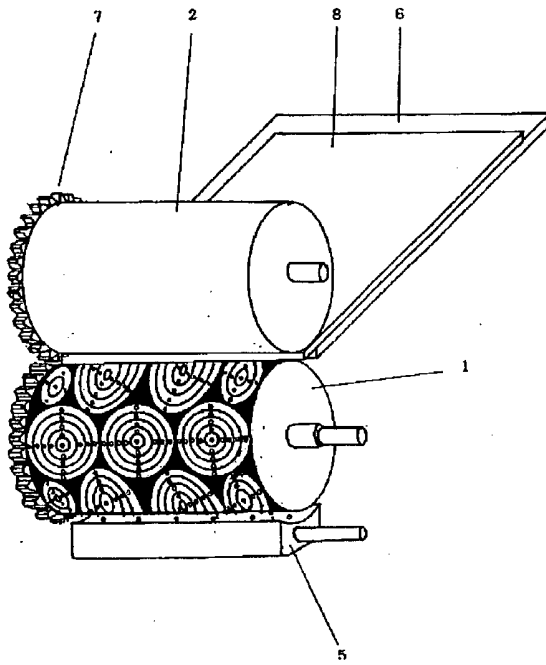
【図2】糸状に繋がったリング麺製造装置の、麺の型付き本体内部のエアー室を示す。

【図3】糸状に繋がったリング麺製造装置の断面略図と麺製造の仕組み説明図

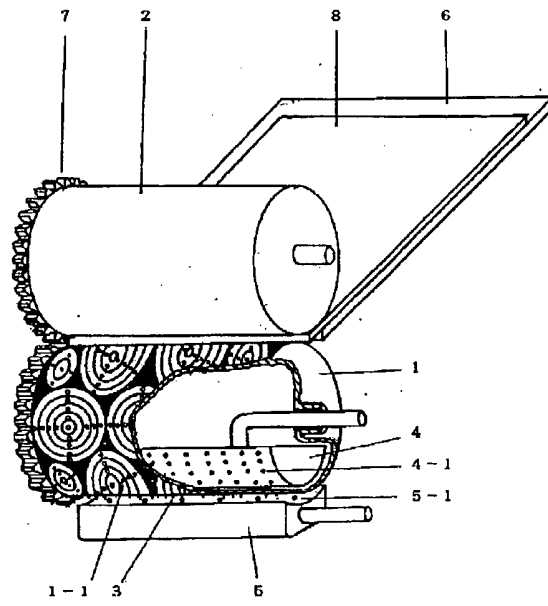
【符号の説明】

- | | |
|-----|-----------------|
| 1, | 麺の金型を設けたローラー本体 |
| 1-1 | 金型より麺を取り出すエアー用穴 |
| 2, | 圧力ローラー本体 |
| 3, | 金型 |
| 3-1 | 金型切歯 |
| 3-2 | 金型切歯 |
| 3-3 | 金型より麺を取り出すエアー用穴 |
| 4 | エアー室 |
| 4-1 | エアー室のエアー吹き出し口 |
| 5 | エアー吸入装置 |
| 5-1 | エアー装置のエアー吸入穴 |
| 6 | 麺の挿入台 |
| 7 | ギヤー |
| 8 | リング麺の材料 |

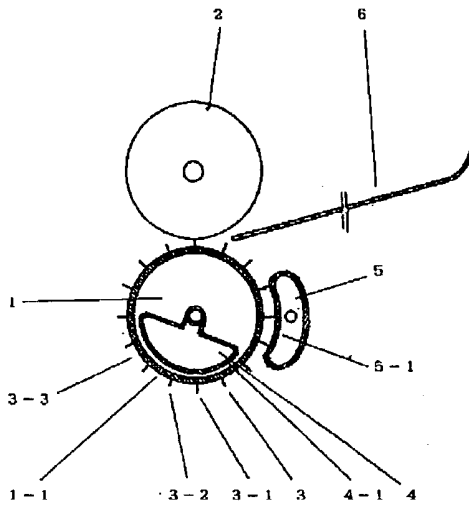
【図1】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP411155465A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11155465 A
TITLE: PRODUCTION APPARATUS OF THREADILY
LINKED RING NOODLE
PUBN-DATE: June 15, 1999

INVENTOR-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KUBOSAWA, KINNOSUKE N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
KUBOSAWA KINNOSUKE N/A

APPL-NO: JP09363380

APPL-DATE: November 25, 1997

INT-CL (IPC): A21C011/00, A21C011/24

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject noodles, not in the form of a single, linear ribbon as conventional Japanese wheat noodles or buckwheat noodles, but eatable while enjoying with a fork for foreigners, and with imagination and dream raised for children.

SOLUTION: The threadily linked continuous ring noodles of modified shape is obtained by the following process: noodles are fed on a charge platform 6, and pressed with a pair of roller bodies 1, 2, and cut into ring-modified-shaped noodles with such a pattern as person, character, animal, automobile or picture

by using a mold cutting teeth provided on the roller body
1.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO